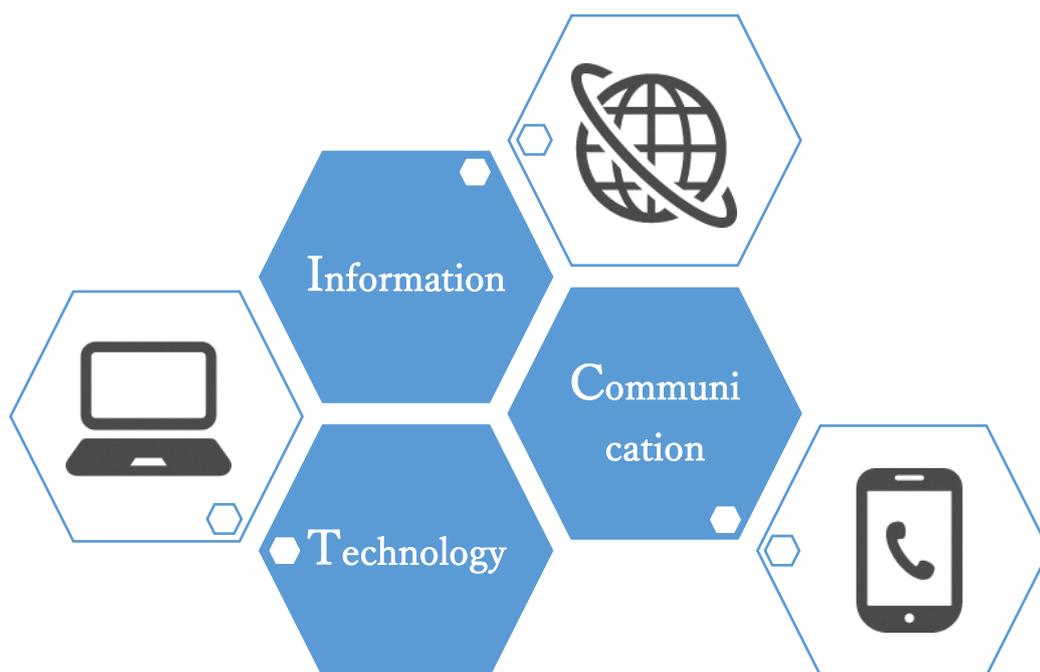


地域における情報共有の ICT 化の手引き

～LINE の活用～

③ 年度替わりの作業編



枚方市コミュニティ連絡協議会

令和4年 9月

目次

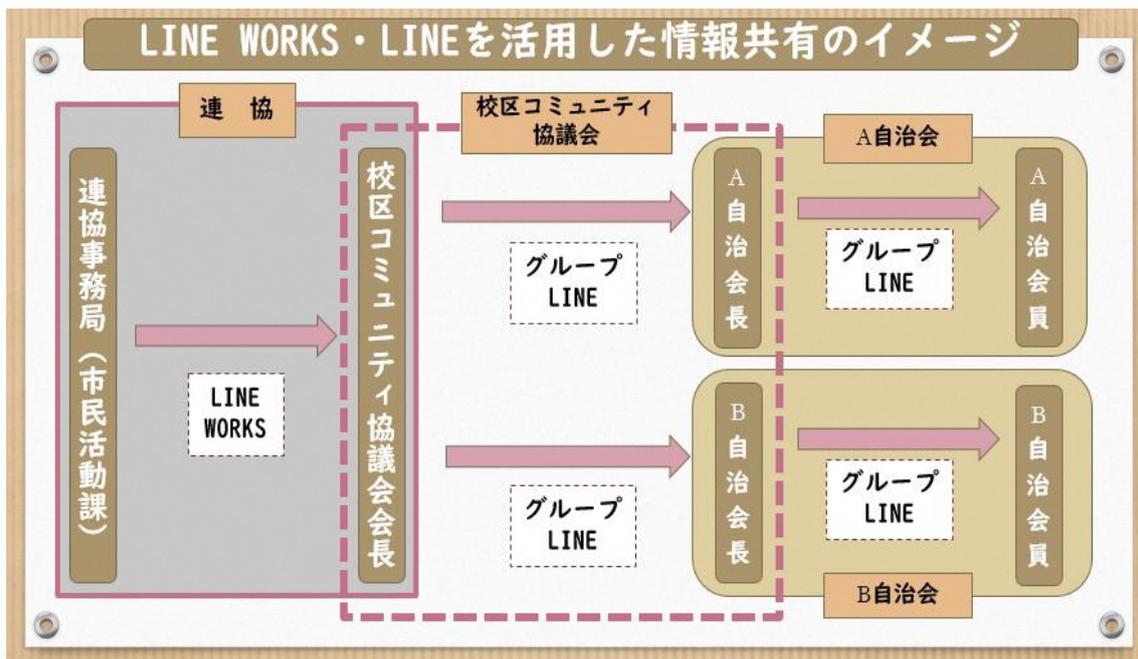
1.はじめに	2
2.LINE の既存グループの編集方法	3
～方法① 既存のグループ LINE のメンバーを編集する場合～	4
グループ名の変更	4
グループを抜けるメンバーの編集	5
新しいメンバーをグループLINEへ招待する	6
～方法② 年度ごとに新しいグループを作成する場合～(ホーム画面から)	8
新しいメンバーをグループLINEへ招待する	8
～方法③ 年度ごとに新しいグループを作成する場合～(トーク一覧から)	9
作業後の確認事項	
友だち追加されているかの確認方法	10
グループに招待されているかの確認方法	11
友だち設定の確認方法	12
3.LINE を使う際の注意点	13
4.引用文献&参考文献	15

1. はじめに

校区コミュニティ協議会及び自治会を対象として、令和2年6月に市が実施したアンケートの結果では、回覧板での情報共有に関する課題として、役員の負担や周知に時間がかかる等の課題が挙げられました。

枚方市コミュニティ連絡協議会（以下「連協」）では、このような現状も踏まえ、地域における情報共有のICT化を図ることで、役員等の回覧・掲示作業にかかる負担の軽減や情報共有の迅速化・効率化に繋がると考え、LINEWORKS およびLINEを活用した情報共有について、令和3年度、希望する校区を対象に試行実施を行い、検討を進めてきました。

その結果、連協では、令和4年度に、地域における情報共有のICT化の推進を活動目標に掲げ、以下のイメージでLINEを活用した情報共有のICT化を推進することとなりました。



本手引きは、校区コミュニティ協議会、自治会での情報共有におけるLINEの活用【①準備編】・【②基本操作編】・【③年度替わりの作業編】の3編あるうちの【③年度替わりの作業編】です。年度替わり等で校区コミュニティ協議会や自治会のメンバーに変更が生じた際の編集方法を紹介いたします。

手引きをご参照いただきながら、少しずつ構いませんので、まずは出来るところから情報共有のICT化を進めていただければと考えております。ICT化をご検討、ご推進の際にご活用いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

2. LINE の既存グループの編集方法

年度替わり等で校区コミュニティ協議会会長や自治会のメンバーに変更が生じた際にグループLINEの編集が必要となります。グループLINEの編集方法としては大きく分けて以下2通りの方法があります。

方法① 既存のグループLINEのメンバーを編集する

例：旧役員にグループLINEを退会してもらい、新役員をグループLINEに招待する

方法② 年度ごとに新しいグループを作成する

例：令和〇年度〇〇校区コミュニティ協議会
令和〇年度〇〇自治会 ...など

方法① 既存のグループLINEのメンバーを編集する場合の手順(4ページ~7ページ)



グループの記録が年度を越えても残ります。
また、新たにグループを作成し、一人ずつメンバーを招待するよりも手間がかかりません。

ステップ1

グループ名の変更
(必要な時のみ)

ステップ2

前年度の方で今年度はメンバーでない方にグループから抜けてもらう

ステップ3

今年度からの新しいメンバーをグループに招待する

方法② 年度ごとに新しいグループを作成する場合の手順(8ページ~9ページ)



年度ごとにグループの作成が必要ですが新グループとして一から始めることができます。
また、前年度の方に抜けてもらうことを知らせる必要がありません。

ステップ1

グループ名の変更
(必要な時のみ)

ステップ2

前年度の方で今年度はメンバーでない方にグループから抜けてもらう

～方法① 既存のグループ LINE のメンバーを編集する場合～

グループ名の変更

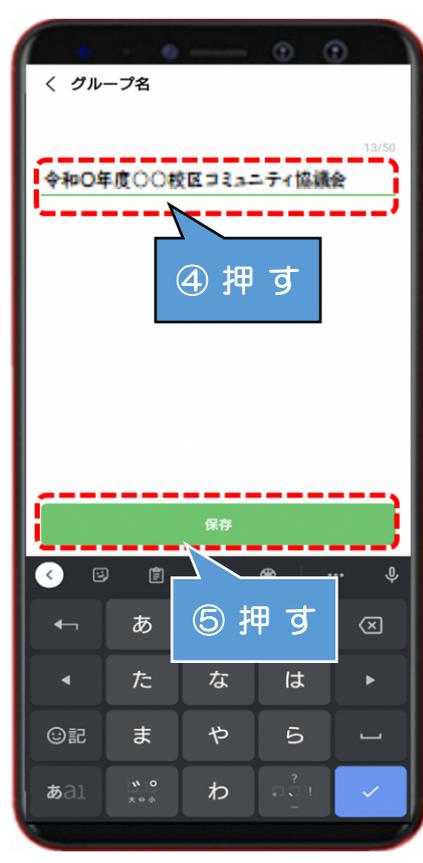


まずは、年度が替わり、既存のグループ LINE のメンバーを編集する場合の手順を解説します。



グループ名の変更 (必要な時のみ)

- ①編集するグループのトーク画面を開き **☰** を押す
- ②【その他】を押す



グループ名の変更

- ③グループ名を押す
- ④現在の名前を押し、新しい名前に変更する
- ⑤名前を変更したら、保存を押す

グループを抜けるメンバーの編集



①編集するグループのトーク画面を開き **☰** を押す

②「メンバー」を押す



③「編集」を押す

④削除するメンバーの横の「削除」を押す

※スマホ画面は Android 端末のもので、機種により、多少の違いがあります。

注意

※トラブルにならない為にも
必ずグループから抜けてもらう時は
本人へ知らせてください



⑤「はい」を押す



次に新しくグループに参加する
メンバーを招待しましょう

新しいメンバーをグループ LINE へ招待する



①編集するグループのトーク
画面を開き  を押す

②「メンバー」を押す

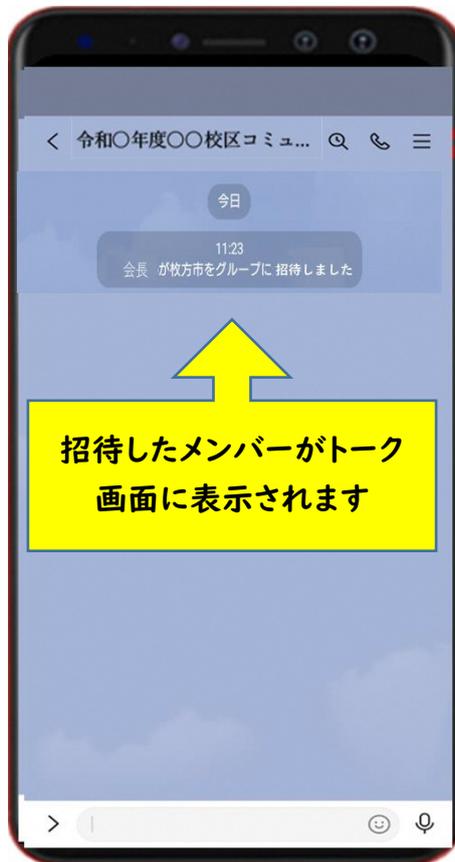
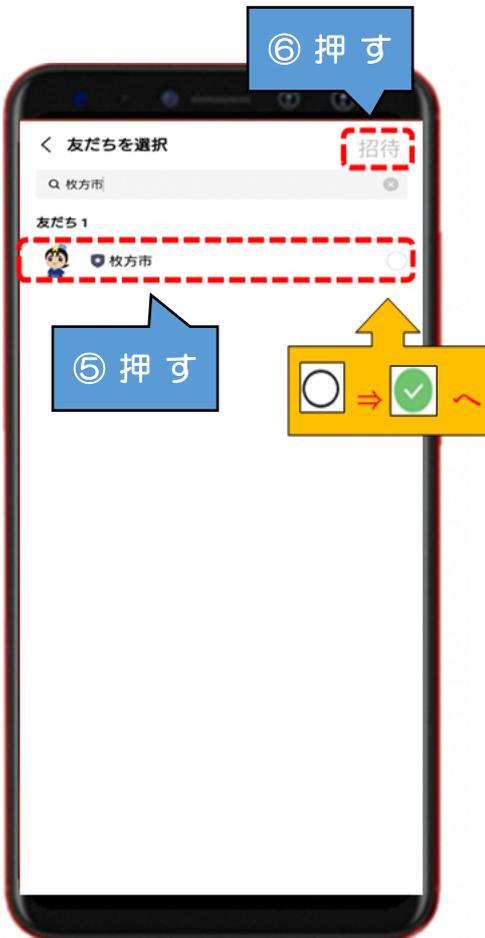
メンバーの招待



③「友達を招待」を押す

④「名前を検索」を押し、
グループに加えるメンバ
ーを検索する

メンバーの招待



⑤加えるメンバーを見つけたらそのメンバーを押す

⑥「招待」を押す

ポイント

新しいメンバーの招待は完了なので、本人にも伝えると早い参加が期待できます。

～方法② 年度ごとに新しいグループを作成する場合～ (ホーム画面から)

新しいメンバーをグループ LINE へ招待する

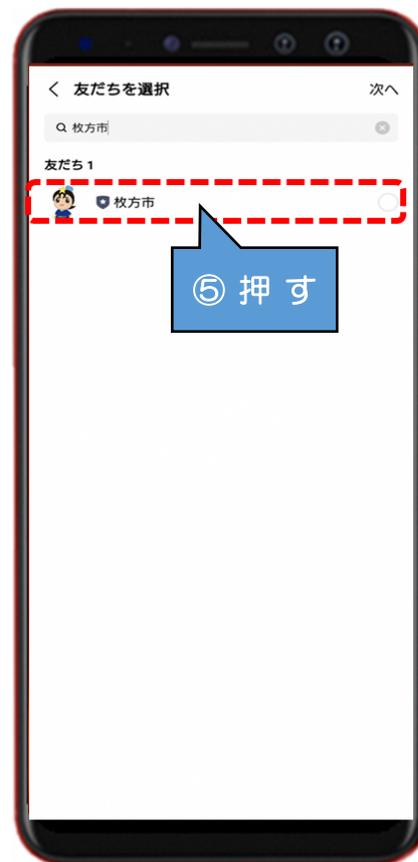


①左下のホーム  を押す

②「友だち」を押す

③「グループを作成」を押す

メンバーの招待

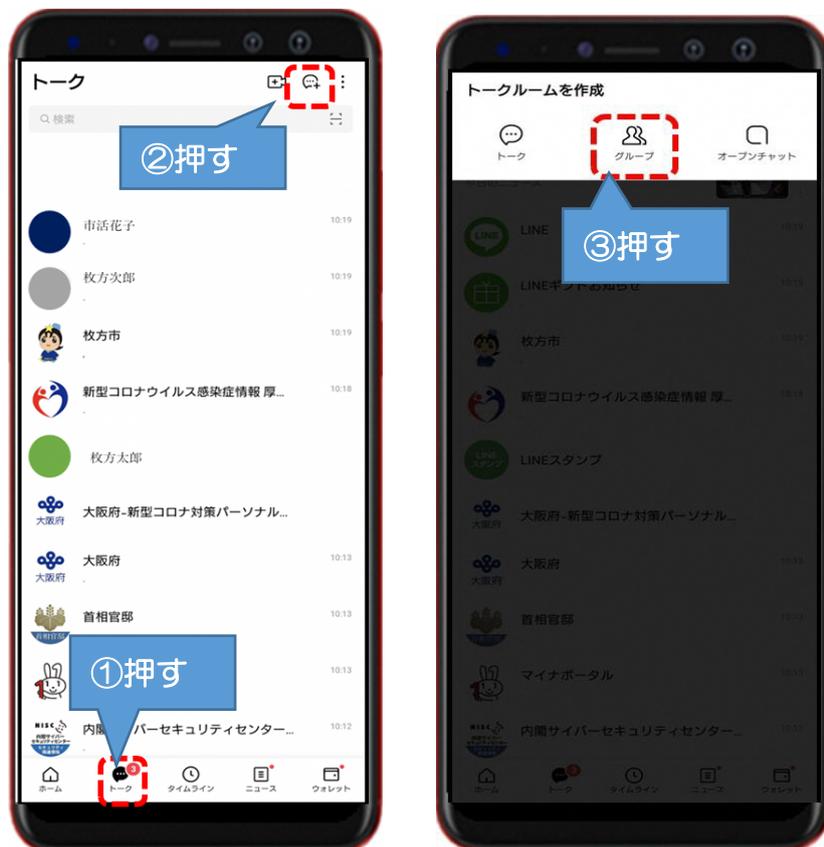


④名前検索を押し、グループに加えるメンバーを検索する

⑤加えるメンバーを見つけたらそのメンバーを押す



～方法② 年度ごとに新しいグループを作成する場合～ (トーク一覧から)



①トーク を押す

②真ん中の を押す

③「グループ」を押す



以下「方法② 年度ごとに新しいグループを作成する場合」のP8～9の④～⑨と同一手順です。

作業後の確認事項



作業が完了していない場合がありますので確認してみましょう

友だち追加をされているかの確認方法



友だち追加をされてまだ承認していない場合は【知り合いかも?】と表示されます。

①左下のホーム  を押す

②「友だち」を押す

③「知り合いかも?」を押す

※「知り合いかも?」の人は
友だち追加が完了していません



④友だち追加をする場合は
 を押す



友だち追加の確認完了



グループに招待されているかの確認方法

💡 招待されているグループでまだ承認していないグループがあれば【招待されているグループ】として表示されます。



① 左下のホーム  を押す

② 「グループ」を押す

③ 「招待されているグループ」を押す

※「招待されているグループ」は、まだグループに入っていない状態です



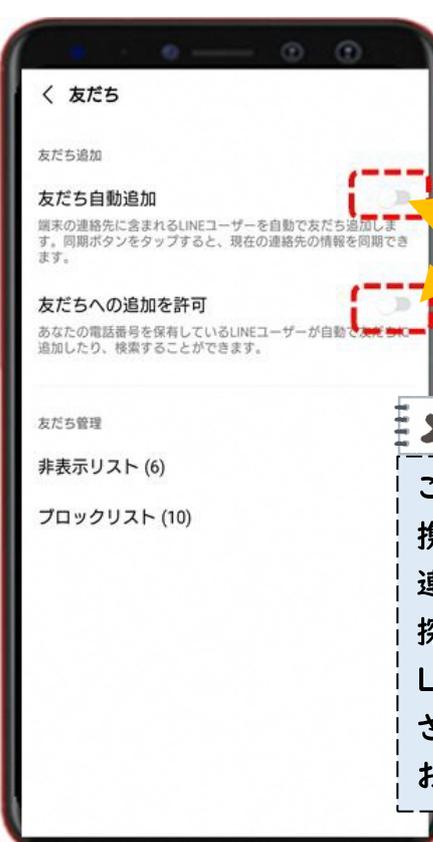
④ 招待されているグループを押す

⑤ グループに入る場合は  を押す

友だち設定の確認方法



- ① 左下のホーム  を押し、ホームに行く
- ②  マークを押す
- ③ 項目の下の方に行く



- ④ 「友だち」を押す

それぞれの設定が画像のようなオフ () になっているか確認する

メモ

この機能がオンになっていると携帯に保存してある電話番号等の連絡先情報から自動的に知り合いを探し出し、友だちに自動追加されます。LINE を知られたくない場合に自動追加されないためにもオフにしておくことをお勧めします。

3. LINE を使う際の注意点

自治会等でLINE グループを活用するときは、事前にグループ内でのLINE 活用のルールを作成して下さい。

- 例) ・緊急連絡以外に深夜早朝はLINE を送らない
- ・発信内容は、原則「報告・連絡」の必要最小限に抑える
 - ・基本的に返信やスタンプは送らない
 - ・個人情報や他人を揶揄する表現、不正確な情報は発信しない

重要! 個人情報の取扱いについて

地域における情報共有にLINE を使う際は以下の点に留意して活用して下さい。

- ・LINE では会員名簿や連絡網などの個人情報は原則取り扱わない。
- ・写真を送る際は、他者の住まいや今いる場所等の個人情報が分かるようなものは送らない。
- ・差別的な発信や人権侵害となる発信、不正確な情報を送信しない。

<参考> その他の機能

オープンチャット

LINE の友だちになっていなくてもグループLINE のようにトークをしたり情報共有ができるLINE 中のサービスです。

特徴としては、普段使っている個人のアカウントを使用せず、友達追加不要で別のアカウントを作成し、参加できるため、プライバシーを保てる等のメリットがあります。

一方で、自ら退会した場合、他のメンバーに通知や表示はされないため、退会に気付かれにくい点や、特定の相手と個別に連絡を取ることが難しい等デメリットがあります。

LINE 公式アカウント

個人のアカウントを使用せず団体としてのアカウントを所有、複数人で管理や運用し、一方向に情報を届けられるサービスです。

特徴としては、LINE 公式アカウントを登録している相手に対して一方的に情報を送る機能であり、複数人の管理者で、運用が行える等のメリットがあります。

一方で、双方向のやりとりが難しい点や友達追加を拒否できない為、コミュニティ内や自治会員だけに公開を限定することができない場合がある等のデメリットが考えられます。

※詳しくはLINE 公式サイト「LINE みんなの使い方ガイド」、「LINE for Business」等をご覧ください。

4. 引用文献&参考文献

標準教材・動画 - デジタル活用支援

<https://www.digi-katsu.go.jp/teaching-materials-and-videos>

○アプリのインストール方法

[教材（パワーポイント形式）]

○SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)・コミュニケーションアプリ
の利用方法

[教材（パワーポイント形式）]

LINE | いつもあなたのそばに。

<https://line.me/ja/>

LINE みんなの使い方ガイド

<https://guide.line.me/ja/>

LINE とつながる唯一のビジネスチャット - LINE WORKS

<https://line.worksmobile.com/jp/>

LINE for Business (※LINE 公式アカウントについて)

<https://www.linebiz.com/jp/service/line-official-account/>

オープンチャットを利用する | LINE みんなの使い方ガイド

<https://guide.line.me/ja/services/openchat.html>